

# 魔法の扉を 開いてみませんか？

～子育てに絵本をどうぞ～

知識の絵本編



岐阜県図書館

# 魔法の扉を 開いてみませんか？

絵本の表紙は魔法の扉です。

絵本を開くと、お子さんの、生き生きとキラキラ輝く  
瞳に出会える、すてきな時間が始まります。

子どもと絵本と大人がそろえば、いつでもどこでも、  
楽しいひとときを過ごせます。

絵本は、赤ちゃんからお年寄りまで、  
誰でも楽しめるものです。

あなたもお子さんと一緒に絵本を楽しんでみませんか？



# 目次

絵本の時間を楽しみましょう ..... 2

知識の絵本とは ..... 5

## こんな絵本はいかが？

かず、ことば ..... 6

てんき、うちゅう ..... 7

しぜん、しょくぶつ ..... 8

たべもの ..... 10

いきもの ..... 12

からだ、いのち ..... 14

くらし ..... 16

あなたのまちの図書館 ..... 18

## 岐阜県の子どもの本に関する取り組み

岐阜県子どもの読書活動推進計画(第四次)について ..... 23

岐阜県図書館における子どもの本のサービス ..... 24

# 絵

## 本の時間を楽しみましょう



### 読み聞かせの大切さ



絵本の読み聞かせがなぜよいのか？

その理由はただ一つ、親子で楽しい時間を過ごすことができるからです。

楽しい時間をたくさん過ごせば、親子の絆はより強く結ばれます。お子さんが成長するにつれ、ともに過ごす時間が少なくなり、ひょっとすると遠く離れたところに行ってしまうかもしれません。

けれども、幼い頃に一緒に過ごした思い出が多ければ多いほど、心の距離は近くなります。

そしてまた、親子で過ごした楽しい思い出は、お子さんの心を支える力になります。お子さんの力になる楽しい時間を、いっぱいつくってください。絵本であれば、いつでもどこでも、ほんのわずかな時間でも、楽しい時間をつくることができます。

「読み聞かせをすると頭が良くなる」と聞くから読んであげたい、という方もいらっしゃるでしょうが、そういったことは絵本の時間を存分に楽しんだからこそついてくる、オマケです。

存分に楽しんでいれば、その楽しい世界を生み出している言葉というものにいつの間にか関心をもつようになります。ご家庭での日頃の会話や絵本の読み聞かせを通して、たくさんの楽しい言葉、おもしろい言葉、あたたかな言葉をお子さんにプレゼントすることで、お子さんは自然と言葉が大好きになるのです。

「これはなんて読むの?」「このお話を聞いてどう思った?」などと、絵本の時間を教育の手段にしたりせず、心から楽しむ時間、親子が心を通わせる時間にすることが最も大切です。



## 絵本に加えて大切なこと



絵本の楽しい時間は、お子さんの心の糧になります。しかし、お子さんの中に思いやりの心や豊かな感受性を育むためには、スキンシップや五感を駆使するような体験こそ、より大切なことでしょう。

お子さんを抱きしめたり、「よしよし」と頭をなでたり、「こちょこちょ」とくすぐったり、おんぶやだっこ、肩車をしたり…。日々の生活や遊びの中で、お子さんと肌と肌でふれあうこと、そしてお子さんと一緒に外に出て、太陽の光の下で自然と出会い、自然の美しさや不思議に共感することこそ、何よりも大切にすべきではないでしょうか。



## 誰でも楽しめる絵本



絵本は赤ちゃんからお年寄りまで、老若男女を問わず誰でも楽しめます。人と人が出会うのと同じように、いつどこで出会うか分かりませんが、出会いがあれば、いつでもかまいません。

「赤ちゃんに知識絵本なんて早すぎる」と思われるかもしれませんが、確かに絵本などなくても、赤ちゃんに愛情を込めて子守唄を歌ったり、話しかければよいのですが、「赤ちゃんにどんな言葉かけをすればいいのかわからない」というときには、絵本を読んでみましょう。絵本の表紙を開けば、大人は言葉を発せずにはいられません。

赤ちゃんは、視力が発達していなくても、お父さん、お母さんの声を安心して聞いています。赤ちゃんの耳に、たくさんの心地よい言葉を届けるために、絵本は大活躍するでしょう。



## 絵本の時間を楽しい時間にするために



では、絵本の読み聞かせをするとき、どんな絵本を読めばよいのかというと、それは、自分が気に入った本やお子さんが気に入った本です。これが、絵本の時間を楽しい時間にする一番のポイントです。次々と新しい絵本を読むよりも、お子さんが何度も「読んで」とせがんで持ってくる、お気に入りの一冊を大切にしてください。

そして丁寧に心を込めて読むことも大切です。ぞんざいに読んでいるとお子さんの気持ちも絵本から離れてしまい、楽しい時間ではなくなります。

また、読み聞かせにはその子にあった時間と場所、適した絵本が必要です。お子さんが嫌がる時は無理に読まず、他の遊びを一緒に楽しみましょう。



## 絵本選びに困ったら図書館へ!



けれども、世の中にはあまりにもたくさんの絵本があり、「お気に入りの一冊」を見つけるのも、なかなか大変なことです。困ったときは、お近くの図書館にお尋ねください。おすすめの本のリストを作るなど、絵本選びに役立つ工夫をしています。

いろいろ借りてみて、お子さんの「お気に入りの一冊」をぜひ見つけてください。

(県内の図書館について、18ページ以降に所在地などを掲載しています)



## 知識の絵本とは

絵本を大別すると、物語の絵本と知識の絵本の二つがあります。物語の絵本とは、創作話や昔話などいわゆるおはなしが描かれたもの、知識の絵本とは、科学絵本をはじめとして何らかの事実や知識が描かれたものです。両方の要素を持つ絵本も少なくありません。

物語の絵本が童話や小説への入口となるように、知識の絵本はより詳しい科学読みものや図鑑、ノンフィクションへの入口となります。また、絵本に描かれていることを実際に見たり確かめたり、五感や身体を使って経験することができるのも知識の絵本のよい点です。

### こんな絵本はいかが？ おすすめ絵本を紹介します

令和2年度の改訂版『魔法の扉を開いてみませんか？』では、物語絵本を中心として、年齢別におすすめの絵本を紹介しました。今回はその続編となる『知識の絵本編』の改訂です。小学校入学前のお子さんに楽しんでいただける知識の絵本を分野別に紹介しています。絵本は3歳頃から6歳頃までのお子さんへの読み聞かせに使用できることを基準に選びましたが、内容的には小学校低学年のお子さんにも十分楽しむことのできる作品が多く含まれています。

さらに本格的な知識の本へ向かうための導入として絵本を利用してはいかがでしょうか。

「お気に入りの一冊」を見つける時の参考にしてくださいと幸いです。





## んな絵本はいかが？



数や言葉を覚えはじめると、自分の知っている数字や言葉・文字を確認することのできる絵本、数え方の絵本や言葉遊びの絵本にも興味を示すようになります。

### 『ウラパン・オコサ』

谷川晃一／作 童心社 1999年

数にもいろいろな数え方があります。この絵本では「ウラパン」「オコサ」と、ちょっと不思議な言葉を使います。絵本に出てくる様々なものを、「ウラパン」「オコサ」で数えてみましょう。読み終わった後は、体や身のまわりのものも、「ウラパン」「オコサ」で数えてみると楽しいですよ。



### 『これはのみのぴこ』

谷川俊太郎／作 和田誠／絵 サンリード 1979年

「これは のみの ぴこ」この始まりの一文に、ページをめくるたびに、新たな言葉が追加されていきます。次々に新しい人物やいきものが登場して場面が進んでいき、最後にはとても長い文章になります。言葉と絵のつながりを、声に出して読みたくなる言葉遊びの絵本です。



### ほかにもこんな絵本があります

『くるまはいくつ？』 渡辺茂男／作 堀内誠一／絵 福音館書店 1967年

『ことばのえほん あいうえお』 五味太郎／作 絵本館 1992年

『とけいのえほん』 とだこうしろう／作・絵 戸田デザイン研究室 1995年

『めのまどあけろ』 谷川俊太郎／文 長新太／絵 福音館書店 1984年



太陽、雲、雨、月、星…、空は子どもたちの関心をひくもので満ちあふれています。天気の変化をはじめとする自然現象や宇宙の謎をわかりやすく説明した知識の絵本もあります。

## 『あしたのてんきははれ?くもり?あめ?』

野坂勇作／作 根本順吉／監修 福音館書店 1997年

とてもわかりやすいお天気観察絵本です。「あさつゆははれ」や「うろこぐもがひろがると雨」など…ぜひ、この絵本を片手に、みんなが知りたい明日のお天気を予想してみてください。きっと、新しい発見があります。



## 『ぼくのロボット大旅行』

松岡達英／作 福音館書店 1984年

巨大なロボットに乗りこんで、北極、北米、南米、オーストラリア、アフリカ、それに深海や宇宙を旅する想像力が膨らむ楽しい絵本です。たくさんの生き物たちと出会い、あらためて地球の大きさに感動。楽しい旅をご一緒にいかがですか?



ほかにもこんな絵本があります

『しずくのぼうけん』 マリア・テルリコフスカ／作 うちだりさこ／訳  
ボフダン・ブテンコ／絵 福音館書店 1969年

### 『おそらにはてはあるの?』

佐治晴夫／文 井沢洋二／絵 玉川大学出版部 2003年

『にじ』 さくらいじゅんじ／文 いせひでこ／絵 福音館書店 1992年



絵本に描かれた身近な自然やなじみある植物をとおして、子どもたちは季節の移り変わりや自然の豊かさを感じ取ります。外に出かけるなどして、実際にそのものを見て、手にとってみるという経験を経ることで、よりいっそう絵本を楽しむことができるでしょう。

## 『たべることはつながること』

パトリシア・ローバー／作 ホリー・ケラー／絵  
ほそやあおい、くらたかし／訳 福音館書店 2009年

食べる食べられるの関係が鎖のようにつながる食物連鎖。ふだん私たちが食べているものは、いったいどんな生きものとのつながりがあるのでしょうか。食事をすることを通して、いろいろな生きものとのつながりを解説している絵本です。



## 『びっくりまつぼっくり』

多田多恵子／文 堀川理万子／絵 福音館書店 2010年

地面に落ちている、まつぼっくりを拾う場面からおはなしがはじまります。ふだんは花びらのように開いた姿のまつぼっくりですが、雨の日には違った姿になります。巻末には、まつぼっくりの性質を利用した、びんづめまつぼっくりの手品が掲載されています。まつぼっくりを拾いに出かけたいくなる絵本です。



## 『ひまわり』

荒井真紀／文・絵 金の星社 2013年

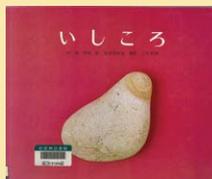
春にまいたヒマワリの種は、水を吸って芽を出し、成長をはじめます。背丈を伸ばして成長したヒマワリは、やがて花を咲かせ、秋になると、たくさんの種をつけます。一本のヒマワリからは、大きいものだと2000個以上の種が取れるそうです。ヒマワリの一生を緻密な絵で描いた絵本です。



## 『いしころ』

森宏詞／作 京田信太良／絵  
平光紀雄／撮影 文研出版 1973年

少し曲がった形の石や、つるつるした石、模様が入った石…、外にはいろいろな石がころがっています。石の模様や形をじっとながめると、いろいろなものに見えてきます。子どもといっしょに「何に見える?」と想像をめぐらせ、楽しみながら読み進めることができます。



### ほかにもこんな絵本があります

『じめんのうえとじめんのした』 アーマ・E・ウェバー／文・絵  
藤枝滯子／訳 福音館書店 1988年

『森のはるなつあきふゆ』 岸田衿子／文 古矢一穂／絵 ポプラ社 1994年

『たんぼぼ』 平山和子／文・絵 北村四郎／監修 福音館書店 1976年

『さくら』 長谷川摂子／文 矢間芳子／絵・構成 福音館書店 2010年

『すみれとあり』 矢間芳子／作 森田竜義／監修 福音館書店 2002年

『どんぐりころころ』 大久保茂徳／監修 片野隆司／写真撮影 ひさかたチャイルド 2007年

『ふゆめがっしょうたん』 富成忠夫、茂木透／写真 長新太／文 福音館書店 1990年

『きのこ』 埴沙蒨／写真・文 ポプラ社 2011年

『たねがとふ』 甲斐信枝／作 森田竜義／監修 福音館書店 1993年



## たべもの

野菜に果物、お菓子、おうちでつくってもらうごはんにお店で食べる料理…、食べものには子どもたちの関心と疑問が詰まっています。食にまつわる絵本は、大好きな食べものの知識を深めてくれるのと同時に、生産者や食事をつくる人に対して感謝の念をもつきっかけを与えてくれるでしょう。

### 『あずき』

荒井真紀／作 福音館書店 2018年

たいやき、あんぱん、さくらもち。小豆を使った食べ物は、私たちの周りにたくさんあります。その小豆を、ひとつぶだけ蒔いてみたら、どんな風に育ち、どのくらい収穫できるでしょうか。小豆を使った和菓子などのイラストは、どれも美味しそうで、食べたくなっちゃう絵本です。



### 『にんにんにんじん』

いわさゆうこ／作 童心社 2017年

スーパーではオレンジ色の根の部分しかありませんが、人参の葉っぱや花はどんな形か知っていますか？ 根っこだって、あか、しろ、きいろと、オレンジ以外の色の人参だってあるんです。切り方も色々な種類があって、いつも食べている人参は、なに切りか探してみても楽しいですね。



## 読み聞かせ Q & A

知識の絵本は何歳頃から読み始めればいいのでしょうか。

何歳という決まりはありません。対象となるものに興味を示したときがよいタイミングです。また、身近な場所で見たりふれたりすることができるものであれば、実際にそうした経験をした後で絵本を読むとよいでしょう。

## 『和食のだしは海のめぐみ 2』

阿部秀樹／写真・文 偕成社 2021年

かつおぶし。日本の心「和食」には欠かせない食材です。家の中でよく見かけるのは、“削り節”ですが、かつおぶしはどうやってでき、どんな形をしているのでしょうか。この本には、かつおぶしの作り方からその歴史、かつお以外で出来た節についても書かれています。簡単な“だし”の作り方で書かれています。



(『和食のだしは海のめぐみ』シリーズは、他に『1 昆布』『3 煮干』があります)

## 『めんたべよう!』

小西英子／作 福音館書店 2018年

麺とひとことに言っても、太い麺や細い麺、長い麺や短い麺と形も様々ですね。この絵本には、和洋中の色々な麺が描かれています。つい手を伸ばしてしまう、そんな美味しい絵本はいかがですか？



### ほかにもこんな絵本があります

『さとうとしお』 ひさかたチャイルド 2015年

『くるくるくるみ』 松岡達英／作・絵 そうえん社 2007年

『バナナのはなし』 伊沢尚子／文 及川賢治／絵 福音館書店 2013年

『ぼくのぼん わたしのぼん』 神沢利子／文 林明子／絵 福音館書店 1981年

『やさいのおなか』 きうちかつ／作・絵 福音館書店 1997年

『よもぎだんご』 さとうわきこ／作 福音館書店 1989年

『干し柿』 西村豊／写真・文 あかね書房 2006年



身近なところにいる昆虫や鳥、犬や猫、動物園にいるさまざまな種類の動物たちや想像の世界にいる恐竜…。物語絵本にこうした生き物が登場する作品が多いことからわかるとおり、子どもたちにとって昆虫や動物はとても親しみやすい存在です。これらを扱った知識の絵本もまた多くの子どもたちに親しまれています。

### 『きんぎょびじゅつかん』

松沢陽士／写真 高岡昌江／文 ほるぷ出版 2019年

お祭りの屋台で見かけるきんぎょ。赤や白、黒など色がきれいで、眺めているだけで楽しいですね。でも、きんぎょって不思議です。魚なのに、海や川にはいません。それに、形や色、もようなどが全く同じものは一匹もないのです。きんぎょはいったいどのように生まれたのか、まるで美術館の展示のように様々なきんぎょを知ることができます。



### 『チョウのはなし』

ダイアナ・アストン／文 シルビア・ロング／絵 千葉茂樹／訳  
ほるぷ出版 2013年

「チョウはがまんづよい」この一言から始まる、私たちの知らなかったチョウの世界。身を守るために変身したり、実は毒を持っていたり、かしく生きていくチョウですが、その姿はとてもきれいです。赤や黄色、青など美しく描かれたたくさんのチョウに子どもも大人も見とれてしまいます。



## 『かぶとむしは どこ?』

松岡達英／作 福音館書店 1990年

かぶとむしは春から大人になる準備を始めます。積もった落ち葉の下に幼虫がいました。まだつのもはねもありません。幼虫だったかぶとむしは夏の始めになると、土にもぐって大人になるための変化を起こします。やわらかくて力のなかった幼虫が成長していく姿が丁寧に描かれています。地面の上に出てきたかぶとむしが飛んだり戦ったり、力強く生きていく様子を絵本いっぱいに表示されていて圧巻です。



### ほかにもこんな絵本があります

#### 『ぼく、だんごむし』

得田之久／文 たかはしきよし／絵 福音館書店 2005年

#### 『しっぽのはたらき』

川田健／文 藪内正幸／絵 今泉吉典／監修 福音館書店 1972年

#### 『とりになったきょうりゅうのはなし』

大島英太郎／作 福音館書店 2019年

#### 『アリからみると』 桑原隆一／文 栗林慧／写真 福音館書店 2004年

#### 『くちばし』

ピアンキ／文 田中友子／訳 藪内正幸／絵 福音館書店 2006年

#### 『こいぬがうまれるよ』

ジョアンナ・コール／文 ジェローム・ウェクスラー／写真  
つばいいくみ／訳 福音館書店 1982年

#### 『まちのコウモリ』 中川雄三／写真・文 ポプラ社 2007年

#### 『うまれたよ! タコ』 櫻井季己／写真・文 岩崎書店 2019年

#### 『ライオンの赤ちゃん』

さえぐさひろこ／文 井上冬彦／写真 新日本出版社 2016年



## からだいのち

体にある様々な器官のはたらきや、病気やケガなど体に生じる変化、命の誕生について、子どもにわかりやすく説明するのは意外と難しいものです。そんなときは絵本を活用するのがいいかもしれません。また、心や感情についての絵本は、はじめての哲学書ともいえるでしょう。

### 『はははのはなし』

加古里子／文・絵 福音館書店 1972年

「は」はなんぼんあるの？ 「は」がないとどうになってしまうの？ 「は」をみがいているのにどうして「むしば」になるの？ いろいろな疑問に答えながら、身近な「は」がどんな役割をしているのか、また「は」をしょうぶにするために大切なことなどをわかりやすく説明しているロングセラーの絵本です。



### 『ねむりのはなし』

ポール・シャワーズ／作 ウェンディ・ワトソン／絵  
こうやまじゅん、こうやまみえこ／訳 福音館書店 2008年

眠るとき、あなたのまぶたはどのようになっていますか。きっと、まぶたが下にさがって目をとじているのではないのでしょうか。では、うま・にわとり・へびが眠るときに、まぶたがどのようになっているか知っていますか。実は、生き物によって眠り方はちがうのです。それでは、どうして生き物は眠るのでしょうか。そして、もし眠らないで、ずっと起きていたら、どうになってしまうのでしょうか。眠りについて研究している人たちが試してみると・・・？



## 『およげ! ウィリー』

ニコラス・アラン／著 藤田千枝／訳 汐文社 2019年

ちびっこ精子のウィリーは、ブラウンさんのからだの中にすんでいます。計算は苦手だけれど、泳ぎなら大得意! そんなウィリーが、水泳大会でブラウンさんの奥さんのおなかにある卵子をめがけて、一等賞を目指します。ウィリーは一等賞になれるのでしょうか? あかちゃんができるのか、分かりやすく描かれている絵本です。



### ほかにもこんな絵本があります

『はなのあなのはなし』 やぎゅうげんいちろう／作 福音館書店 1992年

『おなら』 長新太／作 福音館書店 1992年

『てとてとて』 浜田桂子／作 福音館書店 2008年

『ほね』 堀内誠一／作 福音館書店 1991年

『みんなうんち』 五味太郎／作 福音館書店 1981年

『てのひらおんどけい』 浜口哲一／文 杉田比呂美／絵 福音館書店 2009年

『わたし』 谷川俊太郎／文 長新太／絵 福音館書店 1981年

## 読 み 聞 か せ Q & A

知識の絵本はどのような点に注意して選べばよいでしょうか。

まず、子ども向けにわかりやすく書かれているか、そして書かれている内容が正確であるかを確認しましょう。出版された当時は正しい知識であっても、現在の考え方からすると正しい知識とはいえないこともあります。また、著者がその分野の専門家であるかどうか、専門家でない場合は、他に同じ分野の著作があるか、著者がその分野を得意としているか、監修者に専門家が入っているかに注意するとよいでしょう。



知識の絵本は自然科学分野だけでなく、文化や地理など広く社会を対象にしたものや、子どもの遊びを説明したものもあります。ここでは、これまで紹介してきた分野に当てはめることができなかった絵本を「暮らし」というキーワードで取り上げます。

## 『みずとはなんじゃ?』

かこさとし／作 鈴木まもる／絵 小峰書店 2018年

飲む、洗う、うがいをする…。水は、生き物が生きていくために欠かせない、とても大切なものです。そしてわたしたちの知らないところにも、水は使われています。水とはいったい、どんなものなのでしょうか。私たちの暮らしの中にある「水」を通じて、大切なものを教えてくれる絵本です。



## 『かいちゅうでんとう』

みやこしあきこ／作 福音館書店 2018年

夜、暗い部屋の中で、懐中電灯で遊ぶ兄弟のお話です。光を暗い部屋の壁に向けると、丸く大きく照らされます。だんだん壁に近づいていくと光の丸は小さくなっていき、そのまま光を閉じ込めることもできます。いろいろな角度から物を照らすと、影がゆらゆら揺れて、部屋の雰囲気も、いつもと違って見えます。懐中電灯がつくり出す光と影が、光の性質や存在を意識させてくれます。



## 『中をそうぞうしてみよ』

佐藤雅彦、ユーフラテス／作 福音館書店 2012年

身の回りのものをX線写真を使って見ると、中の様子が透けて見えます。椅子に使われている釘の数はいくつあるだろう、針がたくさん刺さっている針山の中はどうなっているのだろうと、想像をめぐらせながらページをめくるのが楽しい写真絵本です。



### ほかにもこんな絵本があります

『お蚕さんから糸と綿と』 大西暢夫／著 アリス館 2020年

『まほうのコップ』 藤田千枝／原案 川島敏生／写真 長谷川摂子／文  
福音館書店 2012年

『なんでもあらう』 鎌田歩／作 福音館書店 2014年

『あなたのいえわたしのいえ』

加古里子／文・絵 福音館書店 1972年

『はしるはしるとつきゅうれっしゃ』

横溝英一／作 福音館書店 2002年

『かみひこうき』 小林実／文 林明子／絵 福音館書店 1976年

『杉山きょうだいのしゃぼんだまとあそぼう』

杉山弘之、杉山輝行／文と構成 吉村則人／写真 平野恵理子／絵  
福音館書店 1993年

『世界とであうえほん』

辻原康夫／監修 てづかあけみ／絵 村田ひろこ／文・デザイン  
バイインターナショナル 2012年

『ぼくたちのコンニャク先生』

星川ひろ子／写真・文 小学館 1996年

ここに紹介した絵本の出版年は、岐阜県図書館が所蔵するなかで、最も新しい版の出版年としました。

## あ

## あなたのまちの図書館



市町村の図書館では、皆さんのお探している本やお求めの本をお届けできるよう日々努めています。また、絵本の読み聞かせの会や子ども向けの楽しい行事を定期的で開催しています。

お近くの図書館をぜひご利用ください。

## 岐阜地区

(岐阜県公共図書館協議会加盟館 令和3年4月1日現在)

館名	郵便番号	所在地	電話
岐阜県図書館	500-8368	岐阜市宇佐4-2-1	058-275-5111
岐阜市立図書館	500-8076	岐阜市司町40番地5	058-262-2924
分館	500-8521	岐阜市橋本町1丁目10番地23	058-268-1061
長良図書室	502-0829	岐阜市万代町2丁目5-1	058-233-8170
東部図書室	501-3134	岐阜市芥見4丁目80	058-241-2727
西部図書室	501-1172	岐阜市下鷯飼1丁目105	058-234-1633
長森図書室	500-8232	岐阜市前一色1丁目2-1	058-240-2702
柳津図書室	501-6180	岐阜市柳津町宮東1丁目1	058-388-2026
羽島市立図書館	501-6244	羽島市竹鼻町丸の内6丁目2番地	058-392-2270
各務原市立中央図書館	504-0911	各務原市那加門前町3丁目1番地3	058-383-1122
川島ほんの家	501-6022	各務原市川島松倉町1951番地4	0586-89-5610
中央ライフデザインセンター図書室	504-0813	各務原市蘇原中央町2丁目1番地8	058-383-2125
もりの本やさん・森の交流館	509-0111	各務原市鷯沼字石山6529番地2	058-370-7175
山県市図書館	501-2121	山県市大門850番地65	0581-36-3339
山県市高富中央公民館図書室	501-2114	山県市高木588番地2	0581-22-3351
山県市みやまジョイフル倶楽部図書室	501-2314	山県市笹賀197番地	0581-55-2608
瑞穂市図書館	501-0224	瑞穂市稲里28番地1	058-326-2300
瑞穂市図書館分館	501-0305	瑞穂市宮田304番地2	058-328-7070

館名	郵便番号	所在地	電話
しんせいほんの森	501-0465	本巢市軽海424番地	058-323-5757
本巢公民館図書室	501-1292	本巢市文殊324番地	0581-34-5029
糸貫公民館図書室	501-0406	本巢市三橋1101番地6	058-323-7765
根尾公民館図書室	501-1524	本巢市根尾板所625番地1	0581-38-2515
岐南町図書館	501-6013	羽島郡岐南町平成7丁目38番地	058-247-7737
北方町立図書館	501-0431	本巢郡北方町北方1816番地4	058-323-3155
笠松中央公民館図書室	501-6083	羽島郡笠松町常磐町6番地	058-388-3231

## 西濃地区

館名	郵便番号	所在地	電話
大垣市立図書館	503-0911	大垣市室本町5-51	0584-78-2622
大垣市立上石津図書館	503-1622	大垣市上石津町上原1400	0584-45-3118
大垣市立墨俣図書館	503-0103	大垣市墨俣町上宿510-1(さくら会館2階)	0584-62-3900
海津市海津図書館	503-0654	海津市海津町高須605番地	0584-53-1515
海津市平田図書館	503-0311	海津市平田町仏師川488(生涯学習センター内)	0584-66-4900
養老町図書館	503-1251	養老郡養老町石畑483-2	0584-33-0215
タルイピアセンター図書館	503-2121	不破郡垂井町2443-1	0584-23-3746
関ヶ原ふれあいセンター・ふれあい図書館	503-1521	不破郡関ヶ原町大字関ヶ原894-29	0584-43-2233
神戸町立図書館	503-2306	安八郡神戸町北一色821番地の1	0584-27-9866
輪之内町立図書館	503-0212	安八郡輪之内町中郷新田1495	0584-69-4500
ハートピア安八図書館	503-0198	安八郡安八町氷取30番地	0584-63-1515
揖斐川町立揖斐川図書館	501-0603	揖斐郡揖斐川町上南方27番地9	0585-22-0219
揖斐川町立谷汲図書館	501-1314	揖斐郡揖斐川町谷汲名礼264-22	0585-56-3733
揖斐川町立坂内図書館	501-0902	揖斐郡揖斐川町坂内内瀬166-2	0585-53-3860
大野町立図書館	501-0521	揖斐郡大野町黒野990	0585-32-1113
池田町図書館	503-2425	揖斐郡池田町六之井1541番地の1	0585-45-6222

## 美濃地区

館名	郵便番号	所在地	電話
関市立図書館	501-3802	関市若草通2丁目1番地	0575-24-2529
関市立図書館武芸川分館	501-2602	関市武芸川町小知野779-1	0575-46-3611
関市立図書館武儀分館	501-3501	関市富之保2001-1	0575-49-3715
関市立図書館洞戸分室	501-2812	関市洞戸市場294-5	0581-58-2115
関市立図書館板取分室	501-2921	関市板取1634	0581-57-2220
関市立図書館上之保分室	501-3601	関市上之保15110-1	0575-47-2500
美濃市図書館	501-3701	美濃市殿町1571-2	0575-35-2280
郡上市図書館	501-5121	郡上市白鳥町白鳥359-26	0575-82-6006
郡上市図書館はちまん分館	501-4222	郡上市八幡町島谷207-1	0575-65-6769
郡上市図書館やまと分室	501-4612	郡上市大和町剣1	0575-88-3381
郡上市図書館たかす分室	501-5303	郡上市高鷲町大鷲201-2	0575-72-5076
郡上市図書館みなみ分室	501-4106	郡上市美並町白山430-4	0575-79-3700
郡上市図書館めいほう分室	501-4307	郡上市明宝二間手532	0575-87-2016
郡上市図書館わら分室	501-4517	郡上市和良町沢677-1	0575-77-2724

## 可茂地区

館名	郵便番号	所在地	電話
美濃加茂市中央図書館	505-0041	美濃加茂市太田町1921-1	0574-25-7316
東図書館	505-0027	美濃加茂市本郷町9-2-22	0574-26-3001
美濃加茂市北部分室	505-0002	美濃加茂市三和町川浦2565(三和ふれあいセンター内)	中央図書館へ
可児市立図書館 本館	509-0214	可児市広見570番地5	0574-62-5120
帷子分館	509-0256	可児市東帷子1011番地	0574-65-8530
桜ヶ丘分館	509-0236	可児市皐ヶ丘6丁目1番地1	0574-64-3473
中山道みたけ館	505-0116	可児郡御嵩町御嵩1389-1	0574-67-7500
美濃白川楽集館	509-1105	加茂郡白川町河岐1728	0574-74-1022

## 東濃地区

館名	郵便番号	所在地	電話
多治見市図書館	507-0034	多治見市豊岡町1-55	0572-22-1047
笠原分館	507-0901	多治見市笠原町2081-1	0572-43-5157
子ども情報センター	507-0843	多治見市常磐町1	0572-25-0341
中津川市立図書館	508-0041	中津川市本町2-3-25	0573-66-1308
中津川市立蛭川済美図書館	509-8301	中津川市蛭川2178-2	0573-45-2211
山口公民館図書室	508-0501	中津川市山口1616-3	0573-75-2126
福岡公民館図書室	508-0203	中津川市福岡716-2	0573-72-2144
加子母公民館図書室	508-0494	中津川市加子母3519-2	0573-79-2111
川上公民館図書室	509-9201	中津川市川上1427-6	0573-74-2111
付知公民館図書室	508-0351	中津川市付知町4956-43	0573-82-3023
坂下公民館図書室	509-9232	中津川市坂下820-1	0573-75-3115
瑞浪市民図書館	509-6101	瑞浪市土岐町7267-4	0572-68-5529
恵那市中央図書館	509-7205	恵那市長島町中野2丁目2番地5	0573-25-5120
土岐市図書館	509-5122	土岐市土岐津町土岐口2154-9	0572-55-1253



## 飛騨地区

館名	郵便番号	所在地	電話
高山市図書館	506-0838	高山市馬場町2-115	0577-32-3096
丹生川分館	506-2121	高山市丹生川町坊方2000丹生川支所内	0577-78-1111
清見分館	506-0102	高山市清見町三日町305きよみ館内	0577-68-2211
荘川分館	501-5413	高山市荘川町新洲430-1荘川総合センター内	05769-2-2211
一之宮分館	509-3505	高山市一之宮町3095飛騨位山文化交流館内	0577-53-0035
久々野分館	509-3205	高山市久々野町久々野1505-4久々野公民館内	0577-52-3112
朝日分館	509-3325	高山市朝日町万石800燦燦朝日館内	0577-55-3311
高根分館	509-3411	高山市高根町上ヶ洞428高根支所内	0577-59-2211
国府分館	509-4119	高山市国府町広瀬町880-1こくふ交流センター内	0577-72-3111
上宝分館	506-1317	高山市上宝町本郷540上宝支所内	0578-86-2111
飛騨市図書館	509-4292	飛騨市古川町本町2-22	0577-73-5600
飛騨市神岡図書館	506-1111	飛騨市神岡町東町378	0578-82-1764
下呂市はぎわら図書館	509-2517	下呂市萩原町萩原1166-8	0576-52-2901
小坂図書室	509-3104	下呂市小坂町小坂町815-5	0576-62-3111
下呂図書館	509-2202	下呂市森801-10	0576-25-2489
金山図書館	509-1622	下呂市金山町金山2294	0576-32-4009
馬瀬移動図書館	509-2612	下呂市馬瀬名丸406	0576-47-2111



# 岐 県の子どもの本に関する取り組み

## 岐阜県子どもの読書活動推進計画(第四次)について

「岐阜県子どもの読書活動推進計画(第四次)」は、「子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年施行)」及び、国の「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画(第四次)(平成30年策定)」に基づく、子どもの読書活動の推進に関する計画です。

この計画は、平成31年に作成された「第3次岐阜県教育ビジョン」をふまえ、読書活動という視点から、子どもたちが自立し、人生をより深く生きていく力を身につけることができるように岐阜県が取り組みました。

この計画では、①本との出会いの提供、②楽しみながら進める読書の習慣化、③本から学ぶ力の育成、④読書から生まれた自分の考えを表現する機会の提供、⑤特別な支援を必要とする子どもの読書活動の推進 を目指しています。

詳細はこちら



岐阜県のHPに  
つながります





## 岐阜県図書館の子ども本のサービス



岐阜県図書館には、子どもの本に関するコーナーが二つあります。

一つ目は児童コーナーです。子どもから大人まで、どなたでも自由にご覧になり、自由に本を選ぶことができます。楽しい絵本や調べ学習の参考になる児童書をそろえるよう努めています。

二つ目は児童図書研究室です。1972年以来、「子どもと本との出会い」の大切さを多くの方々に知っていただくために、より豊かな子どもの読書環境作りに生かせる資料を収集・保存し、提供しています。各地域で子どもの読書活動を推進している公立図書館、学校図書館、地域の大人の皆さんを支援し、岐阜県全体の子どもの読書活動の推進を目指します。

窓口で、子どもの本に関する調べものをうかがっています。県内の市町村図書館でも、同じように調べもののお手伝いをしており、所蔵している本だけでは解決できない場合は、市町村図書館から岐阜県図書館に貸出や調査の申し込みがあります。何か知りたいことや調べものがありましたら、当館または地元の図書館にお気軽にお尋ねください。



### 読 み 聞 か せ Q & A

知識の絵本はどのように読み聞かせればいいのでしょうか。

基本的には物語絵本と変わりありません。確かに知識の絵本には書かれた知識を習得するという目的もありますが、絵本の時間を楽しい時間にするのが最も大切です。物語絵本と同様に、自分の気に入った本やお子さんが気に入った本を読んであげてください。知識は結果としてついてくるものと考えるのがよいでしょう。また繰り返しになりますが、身近な場所で見たりふれたりすることができるものであれば、あまり絵本で知識を先行させず、直接的な経験もさせてあげてください。

## 岐阜県図書館の利用案内

### 開館時間

平日 10:00～20:00

土日祝 10:00～18:00

### 休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

毎月最終金曜日(祝日の場合は前日)

年末年始、図書総点検期間等



### 交通案内

◎JR西岐阜駅(南口)より

- ・「西ぎふ・くるくるバス」『県図書館・美術館』バス停下車すぐ
- ・徒歩14分

◎名鉄岐阜駅・JR岐阜駅より

- ・岐阜バス「鏡島市橋線」「市橋」行に乗車、  
『県美術館』バス停下車 徒歩3分
- ・岐阜バス「加納島線」「OKBふれあい会館」行に乗車、  
『江添』バス停下車 徒歩10分

## 「魔法の扉を開いてみませんか? ~知識の絵本編~」

発行年月 令和4年1月

編集・発行 岐阜県図書館

〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1

電話 058-275-5111

F A X 058-275-5115

URL <https://www.library.pref.gifu.lg.jp/>



岐阜県図書館HP

